

分野連携企画報告書

行事（企画）名

日本JSME・韓国KSMEジョイントシンポジウム(年次大会特別企画)

行事URL <https://confit.atlas.jp/guide/event/jsme2023/session/1R7-1500/tables?MKIVjSSFcb>

1.開催日・会場 2023年9月3日(日) 東京都立大学 南大沢キャンパス

3.企画内容

日本機械学会（JSME）BE部門では韓国機械学会（KSME）BE部門との連携を発展させるために、2013年にMOUを取り交わし、日韓ジョイントシンポジウムを開催してきた。2018年から部門間交流も兼ねてSHD部門と本シンポジウムを共催している。主な内容は、シンポジウムを毎年どちらかの国で開催するものである。本年は、BE部門とSHD部門の分野連携企画として、日本JSME・韓国KSMEジョイントシンポジウムを2023年度JSME年次大会期間中の特別企画として開催した。

4.連携の成果

今回は、SHD部門と連携して開催し、KSMEから2名の若手研究者、JSMEからはBE部門とSHD部門からそれぞれ1名の若手研究者を招待し、講演および活発なディスカッションが行われた。また、シンポジウムの冒頭では、JSMEおよびKSMEのBE部門における研究活動全般を紹介する講演も行われ、有意義な情報交換が行われた。さらに、シンポジウム終了後には、次回の韓国開催に向けた打ち合わせも行っており、今後の国際連携も円滑に進むことが期待される。なお、招待講演者には、シンポジウムでの講演およびディスカッションだけでなく、部門同好会などにも参加していただくことで、JSME側の多くの研究者と密な国際交流を実施することができた。

2.企画部門

バイオエンジニアリング（BE）部門

スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス（SHD）部門

5.今後の課題（苦労した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

（1）本企画を進める際にKSME側の担当者との連携が重要であった。まず、本シンポジウムへの招待講演者を選定するにあたり、JSME側ではBE部門の渉外委員会メンバーとSHD部門担当者がWGを形成し、将来的な人的ネットワークの形成を図るため、KSMEに若手研究者の推薦を依頼する方針にした。この方針をKSME側担当者と共有することで、韓国から2名の若手研究者が来日し、JSME側の若手研究者と有意義な交流が行われた。招待講演者には部門同好会などにも参加していただくことで、密な国際交流を実施することができた。

（2）本企画は部門間交流および国際交流を目的としてシンポジウム終了後に記念撮影を行った。JSMEとKSMEのロゴを背景に、招待講演者や参加者のみなさんもまじえて記念撮影を行うことで大変和やかな雰囲気で行われた。シンポジウムを終えることができ、その後の個人的な交流にもつながった。

（3）本企画を次年度以降に向けて円滑に継続させていくために、シンポジウム終了後には、KSMEからの参加者3名とJSMEのWGメンバーに、BE部門の執行部メンバー（部門長・副部門長・幹事）も加わり、次回開催に向けた打ち合わせを行った。また、終了後には議事録も共有している。今回は、KSME側の主催となる予定であるが、JSMEおよびKSMEそれぞれの都合を考慮した上で、おおよその開催時期が決定した。また、次回開催に向けて準備を進めるスケジュールや、JSME・KSMEそれぞれの連絡窓口が明確になったため、今後の国際連携も円滑に進むものと思われる。

（4）本企画では、招待講演者のトピックを限定せず幅広い分野での交流を図った。一方で、統一のトピックを設定することでシナジーが生まれる利点もあるため、この点については今後の課題であると感じた。